

【そらべあちゃんの日】プログラム実施報告書

終了

園名	認定こども園 のいち幼稚学園					
選択プログラム	お天気しらべ プログラム					
参加対象（実働）	学齢	4・5歳児	クラス数	2	合計	40名
実施期間	開始日	R4.4.4	終了日	R5.1.12	実施延べ日数	191日

活動のテーマ	楽しく地球を守ろう隊
活動の内容	日々のお天気調べから環境問題に関心を持つ

- ・毎朝9時頃～朝の会を行い、その中でその日の天気の話を行う。
- ・宙組は日々のモニターチェック係を2人ずつ決め、用紙に発電量の記入を行う。
- ・常に節電、節水を意識し、子どもたち同士で声を掛け合う。
- ・資源の大切さにも気付き、折り紙や画用紙の切れ端、段ボールや豆腐パックなどの廃材を用いて制作を行う。
- ・月々の発電量をグラフで表し、○シールを貼って比較することで、晴れの日には発電量が多いこと、雨の日には発電量が少ないことを知る。
- ・令和5年1月12日（木）に高知県立美術館ホールにて発表会を行い、その中で「そらべあ」活動についての発表を行った。

園の様子・変化	活動を振り返って、開始前と開始後の変化があれば教えてください
---------	--------------------------------

そらべあちゃんの日活動をきっかけに、子どもたちが環境問題に目を向け、ECO活動に取り組むようになりました。保護者様より「シャワーをこまめに止めるようになった」「電気消して。と子どもから言われる。」などの声も聞こえてくるようになり、子どもたちの声をきっかけに家庭でも親子でECOに取り組むことができている。今年梅雨の時期がずれ、7月に多くの雨が降ったことに気付いたり、雪の日に作った雪だるまがタライの中で溶け、水になっていく様子を見て「そらべあちゃんの氷もこうやって溶けるきお母さんに会えんがで」という声が聞こえてきたりと、学びから気づきにつながり「できることはやろう！」と活動への意欲に繋がっています。お天気調べでは天気によって発電量が違うことを知り、晴れの日には「今日はいっぱい電気ができちゅう」と喜ぶ声も聞こえるようになりました。環境問題に関心の無かった子どもたちが「そらべあちゃん」のために一生懸命活動する姿に私たち職員も感動しています。R5.1.12の発表会では、SDGsの活動を堂々と発表することができました。


今後の活用	来年度の活動に活かしたいこと
-------	----------------


引き続き、「子どもたちにできることは何か」ということをクラス全体で考えながら、ECO活動に取り組んでいきます。また、発電量と消費電力量を比較し、資源を大切にすることの重要性を伝え、「無駄」のない生活を送れるよう声を掛けながら、子どもと一緒に環境問題について考えていきたいと思っております。


【そらべあちゃんの日】プログラム実施報告書（写真）

終了

園名	認定こども園 のいち幼稚学園
----	----------------

	タイトル	廃材遊び
	<p>家庭から持ち寄ったお菓子の容器を使用し、バズーカ砲を製作しました。日頃から集めている廃材の中から、紙皿や風船などを取り出し、的を作るなど、遊びが広がっています。ゴミレンジャーが清掃を始めると「これまだ使える」「捨てたらもったいない」などと子どもたちから資源を大切にしようとする様々な声が聞こえてきます。大人が見ると「ゴミ」のように思いますが「もったいない」と感じる子どもたちの気持ちに寄り添い、大きな段ボールから小さな紙の切れ端まで大切に使用し、製作遊びを楽しんでいきたいと思えます。</p>	

	タイトル	雪遊びからの気づき
	<p>雪が降った日に園庭で作った雪だるまをタライに入れ、保育室に持って入ると、少しずつ溶けていく雪だるまの様子を見て「あ！氷が溶けゆう」「このままじゃ、そらちゃんと、べあちゃんがおかあさんに会えなくなっちゃう」と心配する子どもたちの声が聞こえてきました。この日をきっかけに、より一層SDGsについて考えることができるようになり、子ども同士の声の掛け合いが増えたように感じます。環境問題について単純に考えると難しいことも、「そらちゃん」「べあちゃん」の存在のおかげで楽しく考え、取り組むことが出来ています。</p>	

	タイトル	発表会
	<p>令和5年1月12日（木）高知県立美術館ホールにて園の発表会を行いました。その中で「そらべあスマイルプロジェクト」という演目で4月から取り組んできたECO活動とSDGsの歌の発表を行いました。①水を止めること②電気を消すこと③ゴミを減らすこと。この3点に重点を置き、1年間楽しく取り組むことができました。SDGsの歌を発表する中で、貧困・飢餓・健康・教育・ジェンダー・水…と17目標を覚えた子どもたち。各目標の意味を知ると、どんどん興味が湧いています。2030年の世界が変わるよう、小さなECO活動を続けて行きたいと思えます。また、発表後、ホール内の保護者様より「すごいねえ」とあちこちで感じたお声も聞くことができました。きっと、今後親子でのECO活動を心掛けてくれると思えます。</p>	